

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	中富・柳瀬・山口民俗資料館管理運営事業	所管	教育委員会教育総務部 文化財保護課
			TEL 2998-9253

事業の目的 (何の為に 行うか)	かつての暮らしぶりを示す貴重な民俗資料等を一般に公開し郷土の歴史に親しむ機会を提供するとともに、民俗文化財の情報収集や、地域ごとに特色のある民俗資料等を地域の民俗資料館で保存・管理し後世に残すことを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	1,888	人

活動の内容	(何を したか)	中富・山口民俗資料館は地域の民俗資料保存会に、柳瀬民俗資料館は社団法人に管理を委託している。開館日は月4回(定期的)、開館時間は午前8時30分～午後5時、入館料は無料。資料収集は収蔵スペース等を考慮しながら、地域の方々から民具等の提供を受けている。小中学校の総合学習として昔の暮らしや遊びの体験を行ったり、山口民俗資料館では機織り機などの民俗資料を使い、かつての名産品であった「所沢紺」を復元し展示している。また中富民俗資料館では、展示資料解説シートを作成し配架している。							
活動実績	項目名	開館日数	144	項目名	来館者数	1888	項目名		単位
			----- 単位 日			----- 単位 人			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,836	2,998	6,568	19.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	学校・団体見学の受け入れ 人数(延べ)	3館合計	1200	1174	97.8
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部署	部課コード	120500	TEL	2998-9253
事業コード	120502	中富・柳瀬・山口民俗資料館管理運営事業	教育委員会教育総務部 文化財保護課			
開始年度	昭和 56 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ		文化財				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市教育行政推進施策			文化財保護法 所沢市文化財保護条例				
	関連・類似事業	指定文化財管理費等補助事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	5節 市民文化	中柱	3 文化財の保存・活用	小柱	(1)文化財の調査収集・市民への紹介
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位		・実施計画における位置づけ…		H19	***	H20	***		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	1131	計画段階からの市民参加の充実	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード			
事業開始の背景	地域で使用されていた民俗資料等を後世に伝えることを目的として、中富民俗資料館が昭和56年に中富小学校校庭より移転する形で開館し事業を開始した。続いて昭和60年に柳瀬民俗資料館、平成7年に山口民俗資料館が開館した。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	かつての暮らしぶりを示す貴重な民俗資料等を一般に公開し郷土の歴史に親しむ機会を提供するとともに、民俗文化財の情報収集や、地域ごとに特色のある民俗資料等を地域の民俗資料館で保存・管理し後世に残すことを目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	市民					民俗資料館3館の来館者数の合計				
対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	2,046	人	
		平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	1,888	人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
中富・山口民俗資料館は地域の民俗資料保存会に、柳瀬民俗資料館は社団法人に管理を委託している。開館日は月4回(定期的)、開館時間は午前8時30分～午後5時、入館料は無料。資料収集は収蔵スペース等を考慮しながら、地域の方々から民具等の提供を受けている。小中学校の総合学習として昔の暮らしや遊びの体験を行ったり、山口民俗資料館では機織り機などの民俗資料を使い、かつての名産品であった「所沢餅」を復元し展示している。また中富民俗資料館では、展示資料解説シートを作成し架装している。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )								
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										
来館者が訪れやすくなるよう、資料館に面する道路に立看板を設置した。(山口民俗資料館) 資料館建物の公共建築物定期点検を実施し、不良箇所(非常誘導灯等)について改修を行い来館者の安全確保を図った。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		2,867	2,836	2,882	
	決 算 (見込み含む)		2,718	2,998		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )	
	正規職員人件費		0.43 人	3,956	0.38 人	3,570
	公債費					※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	事業費合計		6,674	6,568		
	財源内訳	一般財源	6,674	6,568	2,882	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			19.8	19.4		
利用数一単位あたり(単位:円)			3,262.0	3,478.7		

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	開館日数	月4回×12ヶ月×3館	日		144	144	144	
		来館者数	3館合計	人		2,046	1,888	1,800	
	成果分析	学校・団体見学の受け入れ人数(延べ)	3館合計	人	目標値	1,200	1,200		
				実績	1,331	1,174		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
%				達成率	110.9	97.8			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市及び地域の民俗資料保存会・委託事業者	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	前年に比して来館者が減少している。来館者の増加を図るため、ホームページなどでのPRを更に図り、小中学校の総合学習や公民館事業等での来館を促していく必要がある。また、建物・設備の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行っていく必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	民具等歴史資料の調査・収集・保存・活用	展示会・講座への活用を積極的に図る。		
		民俗資料館建物の修繕	山口・中富民俗資料館の建物修繕を行う。		
	平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
地域に伝わる貴重な民俗資料を展示・保管し、多くの市民や小中学生が郷土の歴史に触れ理解を深める機会を提供する場として、本事業の果たす役割は大きい。					
評価日		平成20年5月16日	記入者職氏名 文化財保護課長 金子 美也子		

⑨個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑩環境基本計画	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
	評価理由	評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	261
⑪個別計画における方向性	2-6歴史・文化的環境の保全	施策の方向	2-6-1歴史・文化遺産の保存と活用	
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1251
基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり			
施策の方向	5地域の歴史・文化・自然とふれあう機会の充実			